

白子で住民懇談会

白子4丁目で2月25日に住民懇談会を開催。市議会報告と地元要求の強い雨水排水問題などで話し合いました。後半は共産党は自衛隊をどう考えるの?など、共産党の話題を和やかに話し合いました。後援会の皆さんと、チラシを見て初参加の人も2人来ていただき、帰りに「あんたらはきち



んと市政報告をして住民の声を聞いているのでえらい」と言われて嬉しかったです。



千代崎の桜

春爛漫の3月31日に千代崎駅から田古知川、岸岡山と満開の桜の写真を撮りながら90分のウォーキング。

また翌4月1日には、岸岡山緑地公園で鈴鹿市日本共産党後援会の花見鍋が開催されました。絶好のお花見日和、約50名の参加で賑やかでした。



予算要求で市長と懇談

日本共産党鈴鹿市議団として市長に提出していた「2018年度予算への要求書」に対する回答があり、末松則子市長と懇談しました。子ども医療費の窓口無料の拡大や、学校校舎・ト

イレの改修改築、保育所と学童保育所、学校給食費の引き上げ、市民の足・生活交通の検討・・・等々について、有意義な懇談を行うことが出来ました。(2/6)



■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、HP、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で検索して下さい。



メール



HP



ブログ



No.12 2018年5月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1

電話・FAX 059-386-8561

携帯 090 6577 3617

発行：鈴鹿市議会議員 橋詰 圭一【日本共産党】 ホームページ【はしづめ圭一】 検索



磯山の栄橋

橋梁の耐震化と津波避難路について

3月議会一般質問では、若松の金沢橋と磯山の栄橋について質問しました。この2つの橋は、その橋を渡らないと津波避難所に行くには数百メートルもの遠回りをしなくてはならず、住民にとっては津波から避難する「命の橋」となっています。ですから毎年、この橋を渡って津波避難所への避難訓練を行っています。

津波災害から住民が避難する重要な道路に架かる橋ですが、行政として何の位置づけもされていません。

特に若松の金沢橋は、築39年経過しており、橋梁の幅も狭く、歩道もありません。道路の幅員が狭く金沢橋の幅が狭いから災害ネットワーク道路として位置づけないのではなく、歩道の設置や橋梁の整備などを行って、災害ネットワーク道路として、また主



若松の金沢橋

要避難路としての整備を求めました。

東日本大震災から7年が経過しましたが、緊急輸送道路の矢橋の鉄道をまたぐ橋などの耐震整備がやっと始まったところで、主要20橋の耐震整備には数十年、それ以上かかるかと思われます。政府は、きびしい地方財政のなかでも防災、減災を重視して予算を付けています。本市でも防災・減災対策のスピードを上げてほしいものです。

地域づくり協議会の課題について



3月議会では、地域づくり協議会の課題についても何点が質問しました。

自治会事務委託料がコミュニティ活動費として協議会に交付される場合の課題については、「自治会への配分が現行より少なくなること、また協議会によって金額に差が出ることも想定される。委託事務の見直しを求める意見もあり、庁内でも検討を行っ

ていく」とのことでした。

また、「地域づくりが包括する範囲と参加団体について」「生活支援コーディネーターの配置について」「期待できる効果について」など、いくつかの課題について質問しましたが、地域づくり協議会の運営をすすめる事務局の負担は大きいと思います。行政、地区市民センターからのきっちりしたフォローをお願いしました。



介護保険料 引き下げを申し入れ

介護保険料が4月1日から値上げされようとしているなかで、日本共産党鈴鹿市議団、亀山市議団合同で、2月15日に鈴鹿亀山地区広域連合長に介護保険料の4月からの引き下げを申し入れました。

鈴鹿亀山地区広域連合事務局長と介護保険課長に対応していただき、1時間余申し入れの趣旨を伝え、懇談しました。

申し入れの趣旨は理解できるし基金も多く残すことは好ましいとは思わないが、先行き不透明ななかで不安要素もあるので5億円の基金の取崩で計画案を作ったとのこと。

4月から今後3年間の第7期計画の総事業費554億円の算定には、そういう不安要素も見込んでいないのではないか、それで

あるなら基金をゼロにしても運営できるはずだ。10数億円の繰越金と介護給付費準備基金はこの3年間に保険者が支払った保険料から出た剰余金で保険者に返すのが筋であり、せめて10億円取り崩して値下げすべきではないかと主張しました。

残念ながら3月29日に開催された鈴鹿亀山広域連合議会では、介護保険料基準額・年額1,090円の値上げ予算が賛成多数で原案通り可決されました。



コミバスをよくする会 第4回総会

鈴鹿市民のコミバスをよくする会第4回総会が2月21日、鈴鹿市社会福祉センターで開催され、会場いっぱいの約70名の参加で熱気あふれる総会になりました。



辻井良和会長の挨拶「私たちのめざすもの」のあと、末松則子市長に来賓挨拶を頂き会の活動に激励を頂いたことは、6年間活動を続けてきて、やっと動き出したという思いが参加者の共通認識になったのではないのでしょうか。

玉城町の元気バスDVD視聴、この2年間の主な活動報告、会計報告に続き、今期も①1万人アンケート、②自治会老人会への働きかけと地域懇談会、③先進地見学会、④鈴鹿市との懇談を、重点活動にすすめることや、今まで以上に広く市民に宣伝して「願いの集約」と会員を増やす活動をすすめること、などの提案が確認され、活発な議論が行われました。生活交通を必要とする多くの市民の皆さんの声を集め、無料の地域巡回バス、中央循環バスの実現に向けてがんばりましょう。

『遺伝子組換えナタネ 抜取隊』に参加

遺伝子組換え食品を考える中部の会主催『遺伝子組換えナタネ抜取隊』に参加しました。同会は、中部地方で起こっている遺伝子組換えナタネによる汚染の拡大を防ぐため、その駆除活動をおこなっています。

14年前から始めて、今回で21回目というから驚きです。

白子駅西の新生公園に40数名が集合、10班に分かれて東玉垣から三重大学手前までの国道23号線沿いを歩いて「ナタネ(菜の花)」を見つけて引き抜きます。

なぜ国道沿いにナタネが生えているのか？それは、四日市港に輸入された「ナタネの種」を松阪の精油所にトラックで運ぶ途中でこぼれ落ちて芽を出すのです。それも日本では栽培が禁止されている遺伝子組換えナタネですから始末が悪く、他の野菜と交配して雑種が生まれる可能性が高いそうです。精油所の方々も種をまき散らす責任を自覚して「抜取隊」に様々な形で協力しています。立派な会社だと思います。

私たちの班は、白子駅前から寺家までの



23号線沿いで、49本引き抜きました。その後、白子コミセンに集まって、サンプルを選び、遺伝子組換えかどうかの検査をします。私たちの班は5本検査し、すべて遺伝子組換えの結果がでました。全体では915本引き抜き、検査の結果約75%から遺伝子組換えの除草剤耐性が検出されました。除草剤のラウンドアップとバスターに耐えられるように遺伝子が組換えられているのです。除草剤をいくら散布しても雑草は枯れ、ナタネは枯れないのです。

こうした継続した調査と抜き取りは貴重な活動です。参加者のほとんどは愛知県の方々で、県内、鈴鹿市は私1人でした。初めての参加でしたが、次回も日程が合えば参加しようと思います。(4月8日)

森友公文書改ざん 安倍内閣は総辞職を！

3月19日夕方、あいにくの小雨でしたが、近鉄白子駅西で共産党後援会の皆さん約20名と「森友公文書改ざん・安倍内閣は総辞職を！」の街頭宣伝を行いました。

チラシを配りながら、石田さん、森川さん、私の3人で、6時から7時まで訴えました。国会でウソの答弁をして、それに合わせて公文書を書き換えるなど、民主主義

国家であってはならないことです。

してはいけないことをしたのですから、内閣は総辞職すべきです。再発防止はそれしかありません。

